

# 学校自慢

## 新たな教育課程・学校文化の創造

一人一人の輝く瞳と学ぶ意欲にあふれた学校・学園

南房総市立嶺南小学校長 もりた のりこ 森田 典子



### 1 はじめに

本校は平成31年4月に、「花のまち」丸山地区と「鯨のまち」和田地区の3つの小学校が新校舎へ統合し、「嶺南小学校」として開校した。全校児童数297名、学区はスクールバス9台で、約8割の児童が通学して来る程、広範囲に亘っている。また、同一敷地内には、子ども園・中学校も併設しており、「嶺南学園」として、0歳から15歳までの保幼小中一貫教育を推進している。

### 2 「つ・く・る」を合言葉に前進・・・

今年度初め、4月の始業式に、児童・職員へ「新しい学校に相応しい活動や行事そしてルール等、皆の知恵と力で作り上げていきましょう。」と伝えた。明るく素直な児童、向上心が高く、前向きでエネルギッシュな職員集団に恵まれ、一步ずつ、新たな学校文化の創造を進めている。「つくることは大変なこともあるけれど、楽しみも大きい。」と子供たちが感じてくれることを願いつつ前進してきた。1学期の終業式、子供たちに「皆さんは何を作りましたか。」と問うと、低学年が真っ先に「友達！」と満面の笑みを浮かべ答えてくれた。『つくる』が歩むべき道しるべとなるよう各教室前面に掲示し、校長からは同名で随時校長室だよりを発行してきた。内容には週記録簿や学級経営評価、保護者アンケート等を踏まえて、学校教育目標具現化へ向けての方策を示してきた。加えて、同内容を保護者向けに編成して、学校だより「れいなん」として届けてもいる。時には担任から児童への読み合わせを依頼し、進むべき方向性を共有した。児童・職員と意見交換をしたり、方

策を再検討したりすることで、一人一人が自分事として捉えられるよう意図し、「つくる」ことへの意欲を高めてきた。そして嶺南小学校の学校生活のルールは児童会が中心となって全校児童・職員でつくり上げた。

### 3 「子供の伸びようとする力を信じて！」

どの子も無限の可能性を秘め、伸びようとしている存在として捉え、知・情・意の教育理念の根幹となる「意」への指導を重視することで、主体性や自律心を育てていくことを経営方針として共有している。学校教育目標は「夢に向かって、自ら学び続ける児童の育成～かしこく、心豊かに、逞しく 南房総大好きな子～」と設定し、生徒指導・特別支援教育の充実を掲げ、「学び合える学習集団」を目指し、職員一丸となって、教育活動に邁進している。子供に伸びなやみがあったら、実態把握が十分ではなく、適切な指導・支援に結び付いていないのではと、常に自身の指導を振り返ることのできる教師集団でありたい。

### 4 学園構想へ向けて

本校は、中学校とグラウンドや体育館・特別教室等を共有し、2階廊下で連結している。また、子ども園との共有スペースもあり、一緒に運動遊びを楽しむことができる環境にある。新学習指導要領でうたわれている「学校段階等間の接続」を図った教育課程の展開が十分期待できる。学園として「育てたい子供像」を設定し、見通しと振り返りのある素晴らしい教育環境の中で、輝く瞳と学ぶ意欲にあふれる幼児・児童・生徒を育てていきたい。